

第3回 学校運営協議会 記録

日時	令和7年 10 月6日(月)	会場	美香保中学校 2階会議室
司会	山本(美香保中学校 教頭)	記録	澤本(美香保中学校 主幹教諭)

【1】会長挨拶

【2】熟議

1. みかほっ子サミットにおける子どもの声を踏まえた熟議

2. 全体シェア

● A グループ

- ・子どもの声を地域に届けるのはなかなか難しいが、北光小学校親父の会で花火大会を主催した際、チラシを作成し、町センから町内会長に配布してもらったことがあるので、そのような方法が考えられる。

● B グループ

- ・中学校は部活動を通して地域人材を活用しやすい。
- ・キャリア教育など総合的な学習の時間での活用が期待できる。そのためには、カリキュラムの見直しも必要である。
- ・地域を巻き込んだ挨拶運動となると、顔見知りじゃないとなかなか難しい。地域と子どもを繋ぐための可視化ツール(旗、ベスト、腕章など)があると良いと思う。
- ・青少年健全育成の観点から、音楽や美術などの芸術鑑賞を一緒に行ってみてはどうか。音楽活動や鑑賞を通して一体感を味わったり、美術作品を鑑賞し作者の意図を一緒に考えたりする活動など。

● C グループ

- ・何か一つでも実現できれば軌道に乗るのではないかな。
- ・美香保は北光地区と鉄東地区に分かれているが、鉄東地区は学校がないため、地域と情報を共有することが難しい。情報を共有し、地域の方を巻き込むための掲示板や回覧板があると良い。
- ・小学校と中学校の交流を通し、小学生が中学校生活の見通しを持てるよう、カリキュラムを整備してほしい。
- ・諸活動を支える組織の立ち上げから、地域や応援団が参画できるような仕組み作りが大切である。

● その他

- ・「みかほっ子交流の日」を設置し、合唱などを行ってみてはどうか。そのために、3 校の管理職がしっかりとタッグを組むこと、職員の理解を促進することが大切である。
- ・中学校の学校祭に小学生を招待するなどすると、来年の姿をよりイメージしやすくなるのではないかな。(今年度は、6年生はオンラインで視聴した。)小中がお互いにウェルカムな雰囲気の中で交流し合えるためのカリキュラムの整備が必要ではないかな。
- ・学校を地域に開放した際のセキュリティの問題を、地域の協力で解決できないかな。
- ・大学3年生対象の教師夢プランに参加した際、教員志望の私立大生は学校現場でのボランティアの機会を求めていることが分かったので、学生は活用しやすいのではないかな。
- ・挨拶を考える際、上下関係が前提の挨拶では意味がない。上級生と下級生の双方向の心のやり取りが大切である。